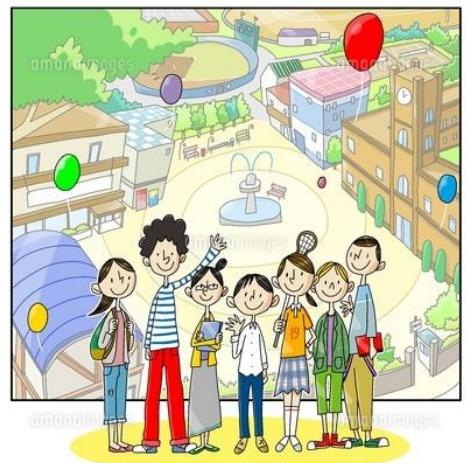
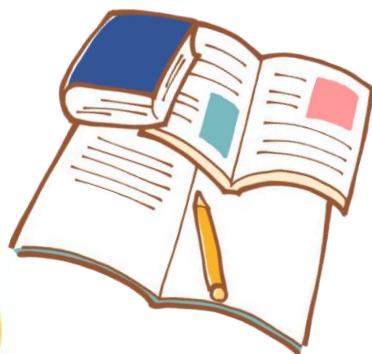


受験の夏

高3の夏

RIKKYO SCHOOL IN ENGLAND

2021 年度 H3 第 1 学期進路ガイダンス資料



H3-	出席番号	氏名
-----	------	----

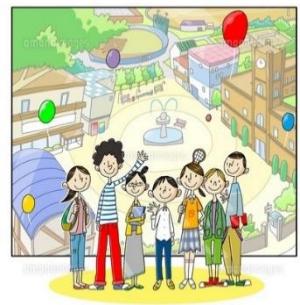
夏休みにすること



自分のこれからの進路・人生・将来のため、
一にも二にも、しっかり勉強せよ。
大学入試を突破するため、大学入学に必要な学力を備えるため、
そして高校生活の総まとめのため。
夏休みに、すべての教科の基礎力が備わるような勉強を。

なぜ自分はその大学に行きたいのか？

行きたい大学があるならば、
オープンキャンパスに行って、
積極的に大学を知ろうとしよう。
そしてどんどん質問して、
自分が大学で何ができるのかを探ろう。
自分の志望と大学での展望を固めてくること。



おうちの方と話し合う



大学は自分の将来のためだけれども
家族の協力が必要。
おうちの方とじっくり進路について話し合おう。

要項入手

夏休み中は、どこも大学入試の募集要項の配布が始まる。
志望大の大学案内・入試要項を入手し、入学試験の形態を確認する。
大学入学共通テストを受験する場合は、この要項も入手すること。



[2020年度高等部2年 春期 進路ガイダンス資料はこちらから。](#)

【1】大学入試のスケジュール

2022 年度 各大学の入試 募集要項の発表・配布開始

7月

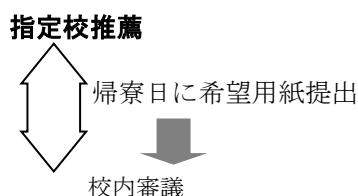
学校推薦型選抜（以前の指定校推薦・公募推薦など）
総合型選抜（以前のAO入試）など

夏休みのうちに、
大学案内・募集要項などを集め、大体
の志望を固めておくこと。
志望大の赤本も用意すること

8月



9月

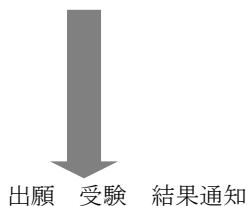


一般入試

大学共通テスト受験案内配布（9月1日から）

(9月27日～10月7日)
学校で一括して出願

10月



11月

12月

1月

1月15日（土）16日（日）大学共通テスト

国公立大・私立大の出願

2月



3月

2月25日～ 国公立大前期試験
3月6日～ 前期試験結果発表
3月12日～ 国公立大後期試験
3月20日～ 後期試験結果発表

4月

【2】志望大を絞り込む

どんな場合も、最終的には一般入試での受験に備えて準備する必要があります。どの受験においても学力がものを言います。学力をつける勉強を怠りなきように。

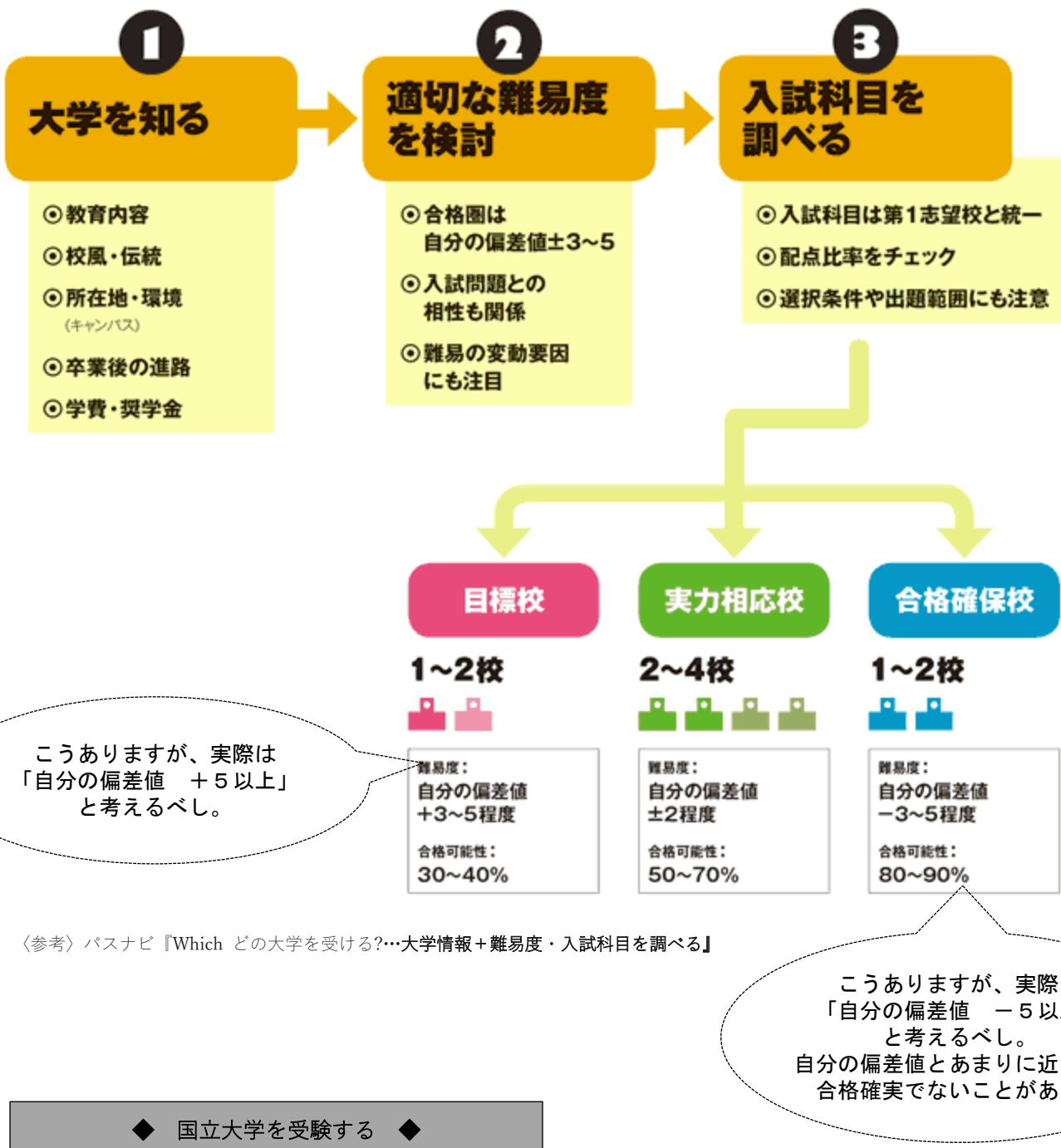
◆ 受験のケースに合わせた、準備の概要 ◆

受験のケース	準備が必要なこと
国立大学を受験する	◆大学入学共通テストの受験準備 ◆国立大学の受験準備 ◆滑り止めとして、私立大学の受験準備
私立大学を受験する	◆私立大学の受験準備 ◆私立大の大学入学共通テスト利用入試を受験する場合は、大学センター入試の受験準備
学校推薦型選抜（公募推薦） 総合型選抜（AO入試／自己推薦）などを受験する	◆受験準備 ◇不合格の場合には、一般入試での受験になるので、あらかじめ【国立大学を受験する】【私立大学を受験する】の準備をしておく（出願については、後の注意事項を読んでおくこと）
学校推薦型選抜（指定校推薦）を受験する	◆受験準備 ◇校内選考を通過しない場合、また推薦入試に不合格の場合は、自己での受験になるので、あらかじめ【国立大学を受験する】【私立大学を受験する】【ほかの型の入試を受験する】の準備をしておく（出願については、後の注意事項を読んでおくこと）

◆ どの大学にも共通すること ◆

一般には、

- 『①目標（挑戦圏）の大学』 ←多くの受験生の場合、これが第一志望大になる
 - 『②実力と均衡の大学』
 - 『③よほどのことがない限り、合格確実の大学（滑り止め）』
- の3つに区分して、受験する大学を決定する。



(a) 前期日程が第一志望校、後期日程が第二志望校で受験する

(後期日程を受験すると、前期日程の大学の合格は無効となる)

(b) 後期日程はレベルが上がるるので、どうしても国立大に進学したい場合には、後期試験はレベルを下げて志望大学を設定する必要がある。また前期日程がいわゆる学力試験であるのに対し、後期日程は小論文、一科目のみの学力試験、結果判定中のセンター試験結果の割合が高いなどと試験の課し方が特徴的なので、これも考慮して決定する必要がある。

◆ 私立大学を受験する ◆

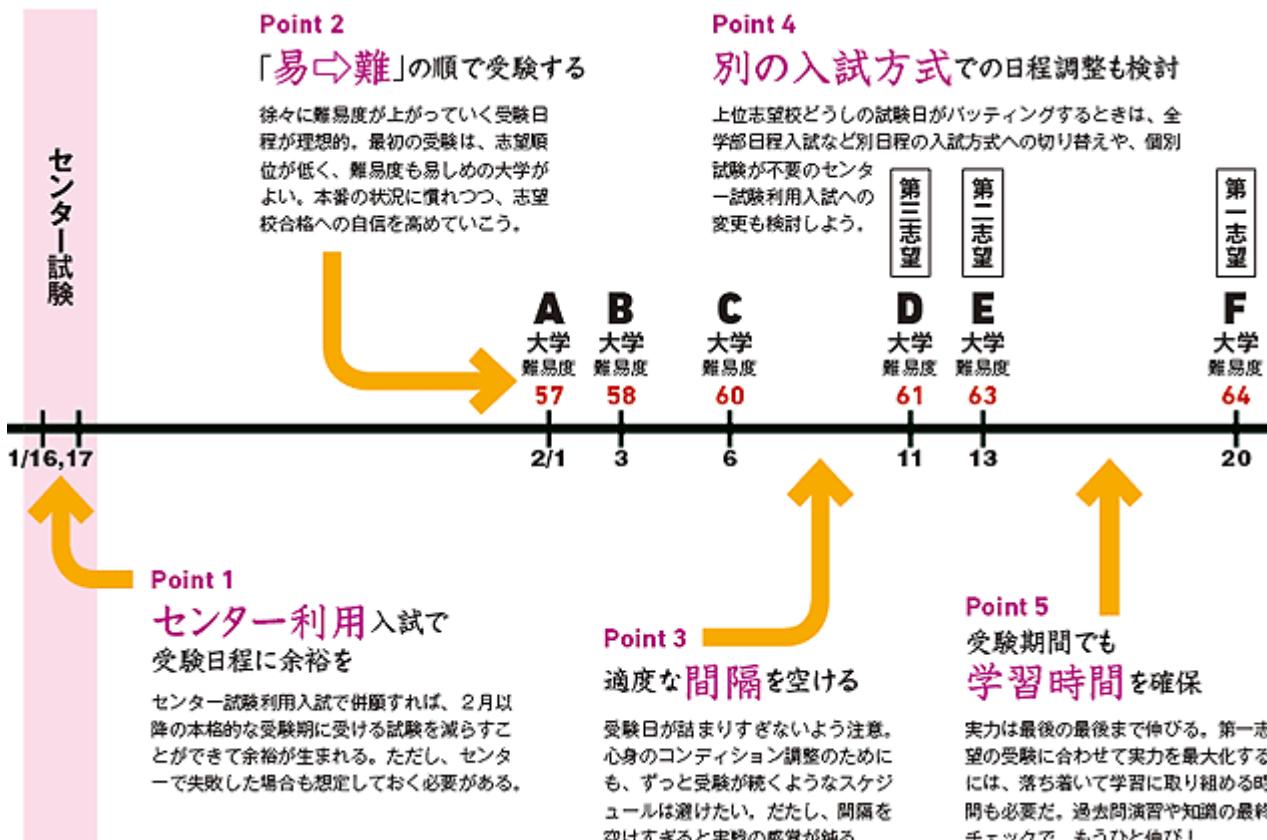
- (a)平均的に、受験生は私立大だけで5～7校ぐらい受けるようだ。しかし、志望によって個人差がある。
- (b)日程が重ならない限りは、いくらでも受験できる。但し、1つの大学の入試を複数回受けられないこともあるので、募集要項をよく読むこと。
- (c)2月の初旬から中旬までの約2週間のあいだに、私立大の入試は集中する。10校や15校などと沢山受けると、体力的にも精神的にも持たず、惨々たる結果になる。そこで…
- 実際に試験会場へ試験を受けに行くのは、①②の大学のみを中心とする。
 - 『③よほどのことがない限り、合格確実の大学（滑り止め）』の大学は、2校程度を実際に試験で受ける形で受験し、もっと受験する時には「センター利用入試」を活用する。
 - (センター利用入試での募集人員は少なく、合格ラインが高いので、①や②のタイプの大学はまず合格するのが難しい)
 - 一般に、試験日が2日連続となって大学を受けるのは大丈夫。3日連続、4日連続で受けるのは非常につらい。よっぽど志望大が含まれており、どうしても受けたい場合には、あらかじめ体力調整を十分にした上で受験する。
 - 第一志望大の受験の前に、入試の緊張に慣れるため、1校練習で受けておくと安心。ただ入試は受験料がかかるので、ご家族とよく話し合うこと。

〈参考〉パスナビ

When & How many いつ、何校受ける? ... 受験校数を決め、スケジュールを立てる

スケジュールのポイント

[パスナビ こちらのサイトが参考になる。](#)



◆受験校数過多に注意!数の目安は5~6校

併願校がある程度絞り込めたら、受験校数や日程を調整しながら、具体的な受験スケジュールを立てていこう。受験生が陥りがちなのが、併願校が多すぎるパターン。本番の試験は、心身ともに想像以上のエネルギーを消費する。加えて、受験自体やその準備に時間もお金もかかる。併願校を適度な数に抑えておかなければ、第一志望校の受験にも影響が出てしまうのだ。

受験校数の目安は、第一志望校も含めて5~6校くらい。6校の場合は、「目標校1、実力相応校3、合格確保校2」が基本パターンだ。例えば、「労力を抑えつつ受験回数を増やしたければ、私立大のセンター試験利用入試を追加する」、また「第一志望校の対策に集中したい、コストを抑えたいという人は、数を絞り込む」など、自分の希望に合わせてカスタマイズしよう。

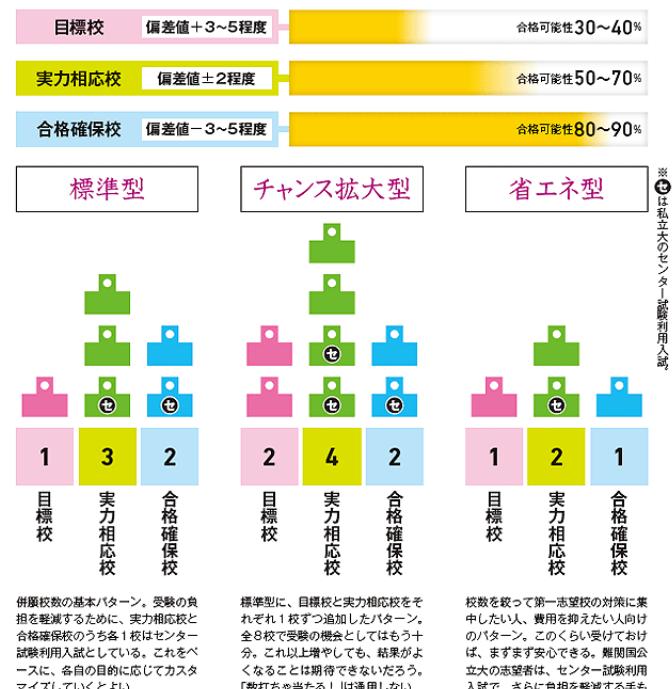
目標校や合格確保校に偏りすぎないよう、併願校の難易のバランスを調整することも重要だ。とくに、自分の実力よりも高めの大学に挑戦する人は、合格確保校や実力相応校などの組み込み方を慎重に検討しよう。もちろん、合格確保校であっても、絶対に合格できるとは限らない。受験に油断は大敵だ。

★第一志望校の試験日を中心に入試スケジューリング

受験日程については、第一志望校の試験日を中心に考えていくのが鉄則だ。試験の雰囲気に慣れるために、少なくとも1校は、第一志望校よりも前に試験日が来るよう併願校を選んでいく。緊張しやすい最初の試験は、志望順位が低く、難易度があまり高くない大学にし、それから徐々に受験校の難易度を上げていき、自信をもって第一志望校に臨む、というのが理想だ。

受験の頻度にも気をつけたい。何日も試験が続くような過密な日程は避け、頭を切り替え、体を休める時間も考慮したスケジュールにすること。試験会場までの移動も計算に入れておこう。長距離移動は、時間、お金、心身と、すべてにおいて負担になる。なるべく移動の回数は減らし、学外試験会場の活用も検討したい。

なお、関西圏では2月上旬、首都圏では2月中旬に多くの私立大の試験日が集中する。各大学の試験日については、「螢雪時代」付録「私立大学入試日程カレンダー早見表」で確認できる。同じ大学・学部でも、入試方式によって試験日が異なる場合がある。学内併願が可能かどうかを含めて、よく研究したうえでプランを立ててほしい。



◆ 学校推薦型選抜、総合型選抜などの特別入試 ◆

学校推薦型選抜（以前の指定校推薦・公募推薦など）、総合型選抜（以前のAO入試）

【合格すれば必ず進学しなければならない特別入試】

「出願資格にちょうどあてはまり、合格の可能性がややある。合格したら喜んで進学しよう」という場合に受けるもの。

【合格しても、他大を受験することができる特別入試】

1～3月の一般入試より前に、「合格のチャンスを増やそう」という目的で受験するものである。しかし、これを受験することで一般入試の勉強に妨げがあると本末転倒になってしまう。

(a) AO入試、一部の公募推薦には「合格すれば必ず進学を要求する入試」と「合格しても、他大の受験が可能な入試」がある。募集要項に記されているので、よく読むこと。

(b) 「合格すれば必ず進学を要求する入試」の場合

➤ 指定校推薦と一部の公募推薦は、合格すれば必ず進学を要求する入試である。「学校長の推薦書」を要求する入試は、全てこのタイプである。

➤ 出願時には、この1校だけしか受けられない。

出願書類を提出した後には、他の大学へ出願することは出来ない。また、出願書類提出前に他大学へ出願していたとしても、受験することはできない。

➤ 合格したときには、必ず進学手続きをすること。合格しているのに辞退をすると、学校長の推薦がある以上、高等学校の信用が失われ、その後の後輩生徒たちに影響が生じることがある。

➤ もし不合格だった場合には、不合格通知を受け取った後に、他大学の受験手続き（＝出願のこと）ができる。多くの場合、不合格通知のあと受験チャンスは、一般入試のみとなる。センター試験も終了した後のことがあり、私立大の一般入試からしか出願できないことが多いので、注意と心構えが必要だ。

➤ 指定校推薦は、その高等学校から大学へ進学した学生の実績に基づいて、大学が高等学校へ良い生徒がいるなら推薦してほしい、という目的で与える入試なので、大学・高校間の信用を失うようなことは一切避けなければならない。また進学後も学生の学業などの様子は大学によって卒業まで調査が行われ、その後の高校への指定校推薦の付与に影響する。

(c) 「合格しても、他大の受験が可能な入試」

➤ 多くのAO入試と一部の公募推薦は、「合格しても、他大の受験が可能な入試」である。

➤ 出願時には、複数の大学に出願書類を出すことができる。ただし、1～2校が一般的。この間に、大学入学共通テストなど他大学に出願することが出来る。

➤ 合格した時には、家族でよく相談の上、入学手続きをとること。「合格しても、他大の受験が可

能な入試」の場合は、入学金を納入することで合格の権利をキープすることができる。

- 合格した時でも、センター試験・一般入試を受験できる。『◆国立大学を受験する◆』『◆私立大学を受験する◆』に合わせて準備を進めること。ただ、いざとなれば入学金を納入した大学があるので、『③よほどのことがない限り、合格確実の大学（滑り止め）』を受ける必要はない。とはいっても、一般入試の雰囲気に慣れるために、第一志望大の入試の前に1校は受けておくと安心。
- 不合格だった場合には、『◆国立大学を受験する◆』『◆私立大学を受験する◆』に合わせて準備を進めること。

◆ 海外帰国生入試 ◆

海外帰国生入試は、大学が提示する出願条件にあてはまれば、出願できます。

募集要項をよく確認して下さい。

わからない場合は、大学に直接問い合わせること。

立教英国学院に問い合わせても、確実な答えとはなりません。

- (a) 海外帰国生入試は、大学によって出願条件が異なります。特に、立教英国学院のような「海外にある学校」だけれども、「文部科学省認定の在外教育施設」の場合には、条件にあてはまることがあれば、あてはまらないこともあります。募集要項をよく読んでください。分からぬ場合には、大学の入試担当へ直接問い合わせて確認すると、出願要件にあてはまるかどうかの照会を行ってくれる大学がほとんどです。（条件は大学が決めるものなので、高校に問い合わせても確かな返事はできません）。
- (b) 今までの実績からすると、海外帰国生入試の条件に、立教英国学院は多くがあてはまらないことばかりでした。条件にあてはまることがあっても、中堅大学よりも下位の大学であることが多いという特徴がありました。

【3】大学入学共通テストの出願準備

夏休みに必ずすること

①大学入学共通テストの受験案内（要項）を入手する。

各自最寄りの大学に直接出向き、受験案内を入手する。記入を誤ったときに備え、2部入手しましょう。

（中に、受験料の振込用紙と志願票がはいっています。）

②検定料を納付する。納付期間は9月1日（水）～10月7日（木）

検定料を納付する時に決めること

受験科目数

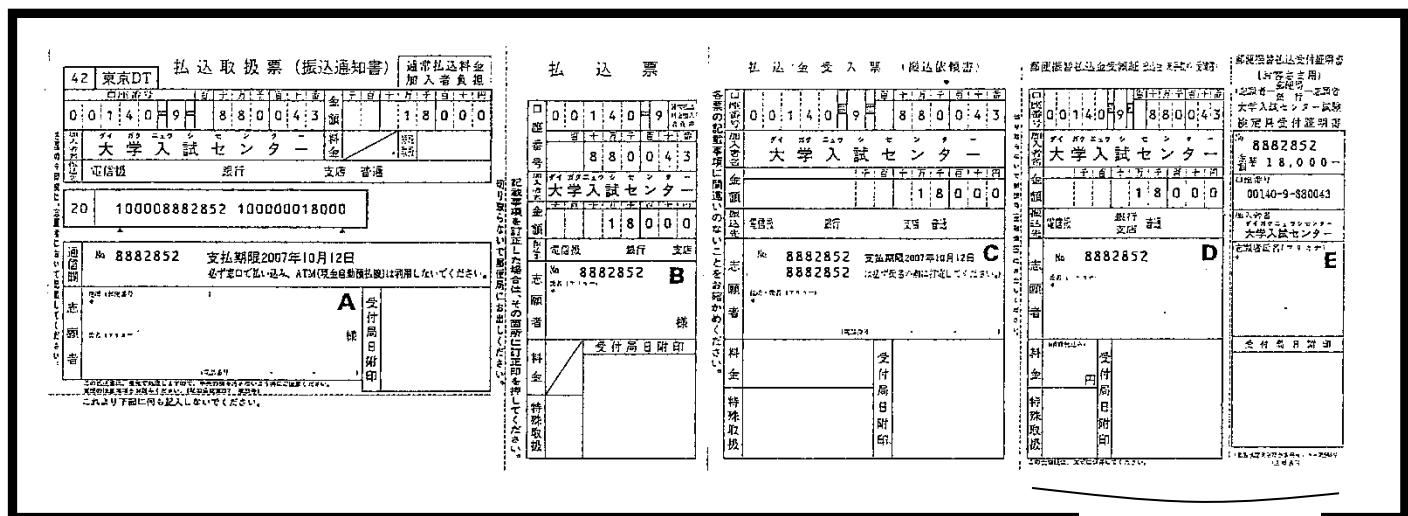
2科目以下 12000円 3科目以上 18000円

大学入試センター

トップページはこちらから。

2022年度共通テストについてはこちら。

大学入学共通テストQ&Aはこちらから。



返却される部分

払込書

これを使って、郵便局か銀行で検定料を支払う。

その場で必ず「受付局日付印」が押されていることを確認すること。

DとEの部分が返却されるので、Eの部分を来学期学校にもってくること（Dは各自の控えです）。Eは志願書に貼り付けます。

受験料納付は日本からしか出来ません。帰国予定のない人は、必ず上の①、②を誰かにお願いしてやってもらってください。ただし、志願者の欄には受験者本人の氏名を記入してもらうこと。

〈夏休み後、学校へ忘れずに持って来なければならないもの〉

①検定料受付証明書E

②受験案内の冊子2部（志願票は未記入のまま持ってくること）

③確認ハガキの送付先の住所・電話番号（これが受験地となります）

【4】海外帰国生入試、自己推薦などの受験

これらの試験は、夏休み中から出願が始まったり、早いところは試験が行われます。

① 帰宅後すぐに募集要項を手に入れること。

- ・出願期日、試験日程を確認
- ・出願資格を確認（在外教育施設は可か、保護者の海外駐在歴の規定、評定平均、英検等の資格）
- ・校長推薦、担任推薦等は必要か、を確認
- ・専願のみか、併願も可か、を確認

② 学校に連絡する

- ・受験について連絡する。
- ・必要書類の用意があれば、依頼する。

【5】受験に際しての注意

- 進路の決定には、模擬試験の結果を参考にして下さい。夏休み後の模擬試験で少なくともC判定が出ていますと、その後の学習努力によって志望校が圏内に入ってくる可能性が広がります。夏休み中にも予備校に個別に申し込むことで模擬試験は受けられます。8月中～下旬のものは、夏休みの努力が表れますので受験を勧めます。
- 総合型選抜の中には併願可能なものがあります。
但し、『合格した場合は必ず進学する』ことを条件とした入学試験。つまり『専願』は、他の入試と併願で受けられないことがほとんどです。入試要項をよく読んで下さい。
- 総合型選抜（AO入試・帰国生入試など）や学校推薦型選抜（公募推薦など）と、立教英國学院が受け取っている指定校推薦の併願にあたっては、別紙「今年度（2022年度入学）の指定校推薦制度の校内出願と選考について」を確認してください。規定した期日以前に最終審査のあるAO入試・公募推薦入試・帰国生入試を受験すると、本校の指定校推薦への出願権を失います。
- 指定校推薦の校内審査は、大学の示す要項にしたがって行われます。校内審査の結果は別紙記載のスケジュールにしたがって希望者に通達されます。
- AO入試や公募推薦など2学期に入試があるものを考えている場合は、夏休み中に入試要項を取り寄せ準備を整えて下さい。必ず入試要項を2学期に持ち帰ってきて下さい。書き損じにそなえて、要項は2部用意しておくと安心です。

- 夏休み中（冬休み・年明けも）に調査書の発行を依頼する場合は、生徒本人が学校へ連絡して下さい。 時間に余裕をもって連絡して下さい。2週間ほど前までが目安です。急を要する場合は国際速達便を使って送りますが5日程度はかかると考えて下さい。郵送料は個人負担となります。
 連絡の際に伝えることは
 - 受験する大学・学部・学科
 - 受験する入試の種類（AO入試、公募推薦、帰国生入試など）
 - いつまでにほしいか（願書提出締め切りを明記すること）

- 入試の種類にかかわらず、発行した調査書を実際に大学に提出しなかった（出願をしなかったので使わなかった）場合は、必ず学校へ返却して下さい。

- 2学期に受験のために一時帰宅しなければならない場合は、保護者の方から連絡してもらって下さい。
 受験のための一時帰宅は、現在のCovid-19の影響で、どのようになるか分かりません。
 最も近い時期の英国と日本の状況にしたがい、時期に合わせて判断することになります。個別に担任までご相談下さい。下記の□は、平常時の原則です（参考）。

- ① 一時帰国期間が2週間程度ならば問題ありません。これを過ぎる場合には、あらかじめ学校へ相談して下さい。
 - ② 一時帰国は、受験日から最長で1週間前から帰国できます（時差をなさずため）。学校への帰寮は、受験日後すぐとなるよう、手配して下さい。
 - ③ 入学試験に重複しているといったやむを得ない場合を除き、期末考査は原則として受験できるよう予定を立ててください。
 - ④ 特別な事情を除いて、2学期終業式には出席して下さい。2学期までの通学期間を全うするようにして下さい。

- 休暇中などに学校へ連絡・相談する必要が出た場合には、学校へ直接電話を掛けて下さい。休暇中でも日直の先生が待機していますので、伝言してもらいます。日直の先生が席を外しているときは、掛け直すか、電話に出た英人スタッフに伝言を残して下さい。

連絡先は、+44-(0)1403-822107

◆高校3年生の通学期間は、高3の2学期終了時までになります。高3の3学期は通学の必要はありません。
 自宅などご家族の定めた場所に滞在し、受験や入学準備に力を尽くして下さい。

【6】夏休みの河合塾模試受験 をしましょう

夏休みは7月中旬から9月上旬まで。約2ヶ月もあります。

「夏を制する者は、受験をも制する」と一般に言われるほど、大切な受験生の夏。高校学習の基礎固めを全ての科目にわたって、じっくりと取り組み、確実な基礎力をものにしなければなりません。長い2ヶ月の間、学習指標として各自で予備校の模試をきちんと受けるとよいでしょう。

■なぜ模試を受けるとよいのか？

1. 受験勉強の成果を見ることが出来る

夏休みの前に最後に模試を受けたのは5月。そこから約2ヶ月受験勉強に取り組んで模試を受けると、その2ヶ月の勉強の具合（どれだけ力が伸びているか、分かっていないか、どこが弱点か etc）を確認しやすくなります。

2. 河合塾模試を受けると、ほぼ同じ基準なので、前の模試と比較して力を把握できる。

学校で受験している河合塾模試を受けると、同じ予備校模試の基準で結果が出ます。高2の3学期、高3の1学期に受験した模試結果からどれくらい力がついているかが比較でき、把握しやすくなります。

3. 全国の受験生の中で、自分がどれくらいの位置にいるのかが分かる

全国の受験生が河合塾模試を受けているわけではありませんが、河合塾模試は大手。かなりの受験生が受けています。この中で、自分がどれくらいの力を持っていて、どれくらいの位置にいるのかを見ると、学校の高3生の中だけで見るより、はるかに現実に近い様子が分かります。

■河合塾 夏休みの模試の実施日

都道府県や地区によって、具体的な日付が異なります。河合塾のホームページで確認して下さい。

河合塾模試サイト <https://www.kawai-juku.ac.jp/zento/>

公開会場での模試は、6月1日より申し込みがすでに始まっています。

Covid-19の影響により、自宅受験型の模試もあるようです。詳しくはホームページを確認すること。各自で申し込んで下さい

あ難関大を目指す場合は、駿台予備校の模試が

難易度が高く、手堅く、良いと言われています。

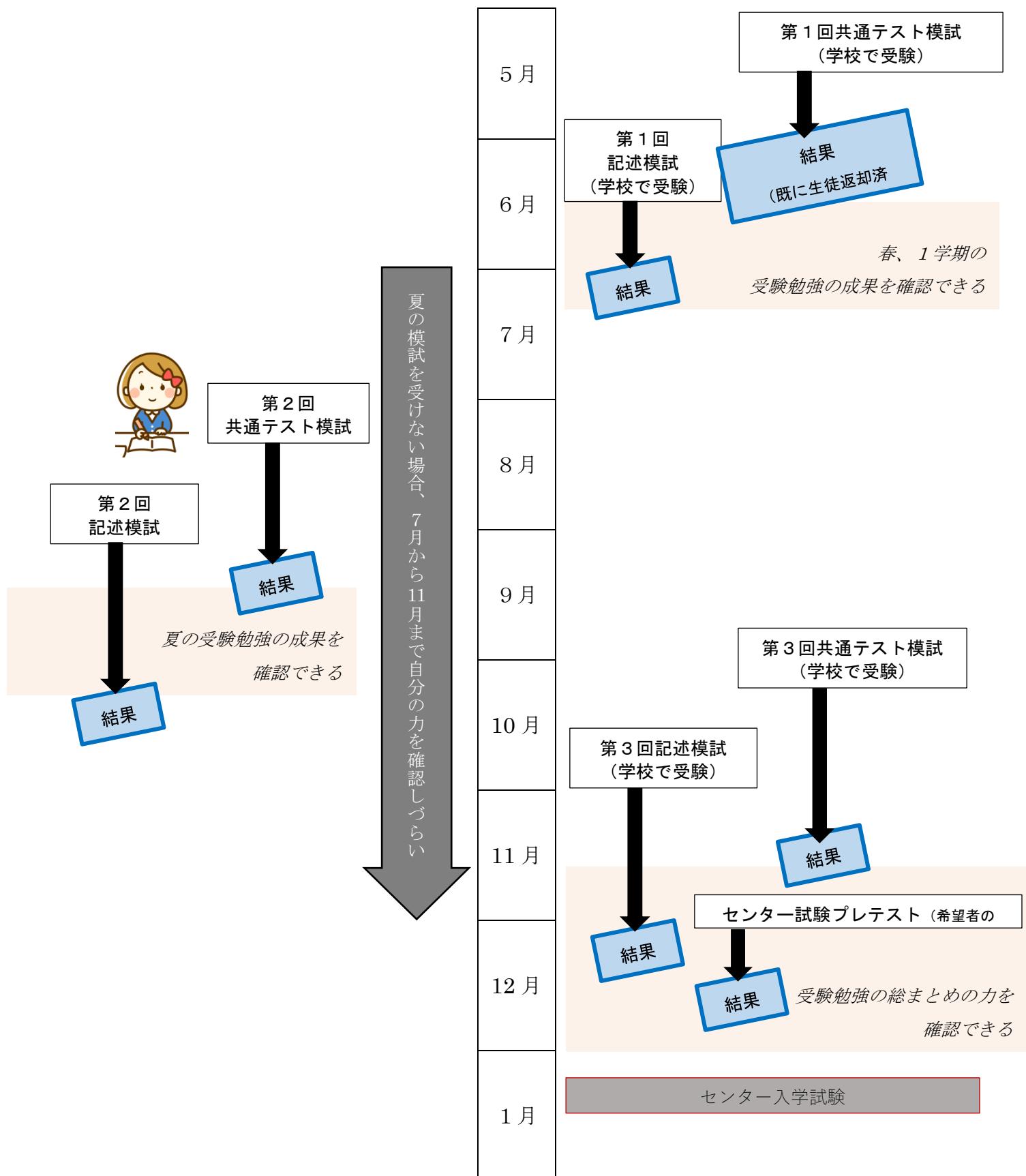
■夏休みの河合塾全統模試のスケジュール

8月第一週ごろ (8/8 ごろ)

河合塾 第2回全統共通テスト模試

8月最終週ごろ (8/29 ごろ)

河合塾 第2回全統記述模試



【7】受験の夏の勉強

夏休みは受験の天王山

- 極意
- ① 夏休みは普段よりも時間がたっぷりある。8:45 に始まって 15:45 に終わる授業が一切ない。全て自分のための勉強に使える。力を十分に伸ばすのは夏休みだ。
 - ② 時間がたっぷりあるのは、他の受験生も同じ。夏に頑張らない者は受験に負ける。

結論 『夏休みは受験の分かれ目』

①夏はとにかく基礎固め。応用力養成は秋から。 …が一般的

②基礎固めとは…

高1からの範囲をじっくり復習。範囲が広くなっても、期末テストやマーク模試が70%程度得点できるような勉強を。模試の各科目の学力レベルがD以下の場合は基礎力養成が必須。





〈演習〉は、とにかく問題にあたって力のトレーニング

◆分からぬものは、必ず問題にチェックマーク。

⇒解法を確認したら、もう一度何も見ずに解く。自分が本当に理解しているか、その場の確認。

⇒翌日もう一度解く、1週間後に解く、1ヶ月後に解く、など一定期の時間が経った後に繰り返し解く。時間が経っても理解が維持されているかの確認。



河合塾シリーズの、マーク式総合問題集

マーク式のセンター模試を集めて問題集にしたもの。これを解くと、センター模試を受けたとき、どれくらい得点できるかで実力の具合を試せる。得点を偏差値に換算すると、どれくらいになるかの対照表もあって便利。

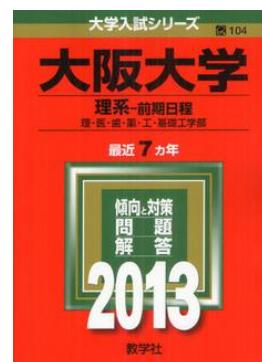
ただし、出題範囲に注意。英語・国語は出題範囲がないようなものだが、他科目は模試の回によって出題範囲が存在するので注意。

駿台予備校、Z会なども刊行している。

2学期に勉強準備の要るもの（応用力養成向け）



【国公立大志望者】
センター入試過去問題集



【全員】
志望大の過去問題集

最低でも第一志望大のものを。

③模試の科目別学力レベルの評価がS～Aの場合は、『得意科目』にどんどん育てる



難関大向けの問題集に取り組む

こういった独自の勉強法も工夫して実践しよう

ニュース記事を読んで、読解力を高める

語句、熟語調べ 文法確認
蛍光ペンや赤ペンなどで、要旨や接続詞などをマークして読み解き
要旨を3つ程度に絞ってまとめる